

Message 研究員メッセージ



[研究員] 原田勇光&原田世子

ミロスラボラトリー【セカンドライフ】では、高齢者が直面する多様な社会課題に対しての根本的解決策と予防法を広く社会にアプローチしています。なぜ社会課題が起こるのか？その原因とは？新しい視点から課題に潜むメカニズムを観ていくことで、課題の根本的解消だけでなく、未然に防ぐこともできるのです。具体的な実証例を通して、そのメカニズムを解明していきましょう。



[研究員] 野坂貴代子

人は老いていく中であきらめてしまうことが多くなっていくのではないのでしょうか。身体も不自由になるにつれ行動にも制限がかかり、今までの思考癖もより頑ななものに。責任感の強い方の多くは無意識のあきらめから「誰の世話にもなりたくない」と自立的に傾き、より強固なものとなっていったりと。しかし、「陰極まれば陽になる」という言葉にもあるように、自立に傾くとは、やがて依存せざるをえない状況に自らが追いやっているようなものなのです。思考の枠内だけの判断をベースにし、新しい変化（未来の自分）を拒んだままの状態では、あきらめた無意識が現象として再現され続けていくことも・・・。

Topic

～社会課題～

“老いに伴うあきらめ癖”を未然に防ぐ！

実証例 『生まれ変わった私～新たな領域にジャンプ！～』

生まれつき先天性股関節脱臼の私は、加齢に伴い足の開きが悪く、背中はいつも鉄板のように堅く感じ、常に横にならないと眠れませんでした。「誰の世話にもなりたくない！」という気質で、なかなか手術に踏み切れずにいた状況を打破してくれたのがミロスだったのです。現状から思い切って新たな領域に踏み込む決心をし、手術をするという大ジャンプをしました。その行動は今までの私の凝り固まった概念を壊してくれたのです。手術は6時間に及び、38日間の入院とリハビリ生活、その間お医者さんや看護婦さん、多くの病院スタッフに“お世話”になりました。“一人で生きている”と傲慢な考えを持っていた私は、今までもたくさんの方々のおかげで今があることを痛感させられ、初めて人に甘えることが出来た気がしました。ミロスは諦めていたことへのチャレンジと、新しい自分に生まれ変わるチャンスを与えてくれたのです。今では孫と一緒に遊んだり散歩が出来るようにまでなり、私の見る景色、行動範囲、全てが変わってしまいました。



体験者: 福井孝子

Comment

いかがですか。今までの現状をとっばらい新しい領域にジャンプ！変容を受け入れたことで、凝り固まった思考概念が外れるとともに、心身ともに自由を手に入れることができたのです。自分の思考癖や内面のバランスが身体に現れていたことを理解したことで、初めて人にゆだねることも出来本来の素直さで新しい人生を楽しまれています。もうあきらめなくてもいい、いくつになっても生まれ変わることができるのです。セカンドライフ（第二の人生）を応援しています！



[研究員] 藤岡京子